

**社会資本総合整備計画 事後評価シート**

**JR和泉府中駅周辺地区**

**大阪府 和泉市**

**平成27年3月**

社会資本総合整備計画事後評価書

平成27年3月6日

計画の名称	JR和泉府中駅周辺地区				
計画の期間	平成23年度～平成25年度（3年間）	交付団体	和泉市		
計画の目標					

当該地区はJR阪和線と和泉府中駅に面する本市を代表する商業・業務機能の拠点であったが、現在、都市基盤整備が遅れ、工場跡地や木造平屋建等の老朽化した建物が密集し、防災面からも非常に危険な状態にあるとともに、年々機能の低下が目立っています。このようなことから、市街地再開発事業を核とした一体的な地域整備により、道路や駅前広場等の都市基盤整備と併せ、災害に強く本市の玄関口としてふさわしい活力あるまちづくりを目指します。また、再開発事業区域内の道路や自由通路、和泉府中駅舎等の都市基盤の整備を行うことにより、駅周辺利用者の安全性・回遊性を高め、誰もが利用しやすい快適な駅前環境を整備することでまちの発展を促進します。

計画の成果目標（アウトカム指標）

市街地再開発事業等により災害に強く、利便性の高い安全安心な都市環境を整備し、商業・業務活動に新たな活力をもたらし、地域の文化、交流活動を促進するまちづくりを進めます。

アウトカム指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値			備考					
		当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)						
①	和泉府中駅周辺が利用しやすくなったと感じる市民の割合	17.7%	20.0%	50.0%						
②	JR和泉府中駅周辺で発生する事故件数の減少【平成20～22年度における事故件数の平均×50%】	100.0%	80.0%	50.0%	当初現況値の事故件数：5.3件					
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,979 百万円	A	3,198 百万円	B	0 百万円	C	781 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.6%

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った要因等を分析した。その検証結果を踏まえ今後のまちづくりの方針を検討するとともに、その評価に透明性、客観性、公正さを反映させるため、学識経験等を有する第三者による事後評価委員会に意見を求めた。	平成26年度
	公表の方法
	市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段：計画	下段：実績			
A 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	都市再生	一般	和泉市	直接	和泉市	JR和泉府中駅周辺地区	道路、自由通路整備事業等 14.8ha	和泉市						828	うち提案事業 112
							道路、自由通路整備事業等 14.8ha							765	うち提案事業 82
1-A-2	再開発	一般	和泉市	直接	和泉市	和泉府中駅東第一地区	道路L=0.3km 駅前広場A=7317㎡	和泉市						2,162	
							道路L=0.3km 駅前広場A=7317㎡							1,940	
1-A-3	道路	一般	和泉市	直接	和泉市	(他)府中町58号線	駐輪場整備 1,500台 3階建て	和泉市						320	
							駐輪場整備 1,500台 3階建て							219	
									合計					3,310	
														2,924	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
									合計					0	
														0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
I-C1	施設整備	一般	和泉市	直接	和泉市	駅前歩行者空間整備事業	歩行者デッキ、EV、ESC、案内サイン、高質空間化	和泉市						669	
							歩行者デッキ、EV、ESC、案内サイン、高質空間化							584	
									合計					669	
														584	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														
I-C1	再開発事業(1-A-2)と一体的に市の玄関口としてふさわしい公共空間を整備するものであり、景観・歩行者の移動支援等に配慮した整備を行うことにより、歩行者空間の快適性の確保が図られる。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	
①和泉府中駅の橋上化及び自由通路の新設によりバリアフリー化が図られるとともに、駅西側からの利用が可能になるなど利用者の利便性が向上した。(JR和泉府中駅周辺地区)	
②駅前広場の整備において、路線バスやタクシー、一般乗用車の乗降スペースを機能的に配置することにより、公共交通機関の乗継ぎなど利用者の利便性が向上した。また、駅前広場やアクセス道路において、ゆとりある空間を確保するとともに、電線共同溝の整備により無電柱化を行うなど、快適な駅前環境が整備された。(和泉府中駅東第一地区)	
③歩行者デッキを整備することにより、駅から再開発ビルや既存商店街へのアクセスを確保するとともに、歩行者と自動車の動線を立体的に分離することで、利用者の安全性・回遊性が向上した。(和泉府中駅東第一地区)	
④駅への主要なアクセス道路に面して駐輪場を整備することにより、駅や駅周辺施設の利用者の利便性が向上した。(他)府中町58号線)	
⑤市の玄関口である駅前にふさわしい景観や歩行者の移動支援等に配慮した整備を行うことにより、歩行者空間の快適性の確保が図られた。(駅前歩行者空間整備事業)	
⑥上記のような効果が発現したものの、一部の道路整備については継続して事業を実施中であることから、駅周辺一体としての効果発現については不十分な面がある。	

II 定量的指標の達成状況						
指標①(和泉府中駅周辺が利用しやすくなったと感じる市民の割合)	最終目標値	50.0%	算定式	—	目標値と実績値に差が出た要因	「和泉府中駅周辺が利用しやすいく感じますか?」のアンケートに対し、「非常にそう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた割合の数値は目標値には達していないが上昇している。目標値と実績値に差が出た要因としては、実績値の基準時点である平成25年度(H26.1)においては、駅前広場や歩行者デッキ等の整備工事中であり、迂回路や仮歩道を利用するなど利用者にとっては利用しづらい状況であったことが考えられる。 なお、一部の道路整備を継続して取り組むことで、今後、駅周辺一体としての効果発現が期待できる。
	実績値(H26年1月時点)	25.4%	算定式	224 / 884 [人]		
指標②(JR和泉府中駅周辺で発生する事故件数の減少)	最終目標値	50.0% (2.6件)	算定式	100 / 2 [%] (5.3 / 2 [件])	目標値と実績値に差が出た要因	目標値と実績値に差が出た要因としては、実績値の算定期間である平成26年の1年間においては、駅前広場や歩行者デッキ等の整備工事中であり、迂回路や仮歩道の利用など交通動線が段階的に変化していた。また、工事完成後における駅前広場の供用開始や歩行者デッキの全面供用開始など、新しい交通形態が利用者に十分に浸透するまでに至らず、混乱を招いたことが要因と考えられる。 なお、今後、新しい交通形態が利用者に十分に浸透していけば事故件数の減少が期待できる。
	実績値(H26年)	132.0% (7件)	算定式	7 / 5.3 × 100 [%]		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
①市街地再開発事業により災害危険性の高い木造密集市街地を整備することにより防災面の改善が図られた。(和泉府中駅東第一地区)	
②駅の自由通路の整備により駅西側からの利用が可能になったことや駅舎のバリアフリー化、路線バスやタクシー、一般車の乗降場の配置など公共交通機関の乗継ぎが便利になったことが和泉府中駅の利用者数の増加に繋がっていると考えられる。(JR和泉府中駅周辺地区、和泉府中駅東第一地区)	

## 3. 特記事項(今後の方針等)

- ①図書館や商業施設などの集客施設と和泉府中駅前という立地特性を最大限に活かし、民間の活力を効果的・効率的に誘導・導入することにより更なる地域の活性化を図る。  
また、商工施策との密接な連携により、既存商店街の活性化や地域の創意工夫による活力と魅力あるまちづくり・まち育てを目指す。
- ②一部継続中の道路整備工事を早期に完遂させ、利用者の安全性・快適性の更なる向上を図る。

(参考図面)

計画の名称	1 JR和泉府中駅周辺地区	交付団体	和泉市
計画の期間	平成23年度～平成25年度（3年間）		

